

## 可搬式消防ポンプ（F i、F Fシリーズ）

### バッテリー取り付けに関するお願い

取り付け方が適正でなかった場合、バッテリーケーブルの被覆が破損し、消防ポンプにダメージを与える可能性があります。

日頃は、弊社製品をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

弊社製造の可搬式消防ポンプ（F i、F Fシリーズ）におきまして、バッテリーケーブル（プラス側：赤）がマフラーに接触し、ケーブルの被覆が溶けた事例が発生いたしました。

原因は、バッテリーケーブル（赤）がマフラー方向へ向けて取り付けられたため、バッテリーケーブルがバッテリー後方のマフラーに触れ、熱により被覆が解けたことによります。

つきましては、誠に恐縮ではありますが、同シリーズの可搬ポンプをご使用のお客様は、運転前に適正な取り付けがされているかご確認いただきますようお願いいたします。（対象機種並びに確認については、以下をご参照ください）

ご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

なにとぞご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2017年7月10日

株式会社シバウラ防災製作所

なお、本件についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

株式会社シバウラ防災製作所 国内営業部

電話番号 0263-29-1072

**【お願い】** 製品付属の安全ノズルを装着ください。

今回発生した事例の中で、管槍をつけない状態で放水をおこなっていたことが判明しています。安全ノズルを装着していない管槍をつけない消防ポンプでの放水は、過負荷による異常発熱等の原因にもなります。

貯水槽等への給水などノズルや管槍をつけない運転等の場合、必ず、安全ノズルを装着ください。（常時、装着いただいても構いません）

## 確認対象機

対象機種：FF500, FF450, FF400, GR80, GR100

Fi8000, Fi7000, Fi6000

※（AS / AR / Dash Premium 含む）

## 取り付け状態の確認方法

① バッテリー及びバッテリーケーブルを、消防ポンプ リコイル側から見たとき、プラス側ケーブル(赤)が、バッテリー上面に配線されているか、確認ください。

（写真①のような状態が適正です）

② バッテリー正面から見たとき、バッテリーケーブルがポンプ内部右側(マフラー側)へ回っている場合は、取り付けなおしてください。

※ 注意：ケーブルを外す時は必ずマイナス端子(黒)、プラス端子(赤)の順で取り外してください



## 【参考】 バッテリー取り付け方

- ① バッテリー台にバッテリーを置き、バッテリーケーブルを（プラス側：赤）（マイナス側：黒）の順で接続してください。
- ② バッテリーロードとバッテリーの隙間にバッテリーケーブルを通し、動かないようにしてください。（写真②参照）

以上